

北九州 市議会だより

NO.191

平成22年11月1日号
(年4回発行)

編集・発行
北九州市議会事務局総務課
TEL582-2621 FAX582-2685



市議会のホームページで「市議会だより」や本会議の「会議録」「インターネット中継」などご覧いただけます。
アドレスは<http://www.city.kitakyushu.jp/page/gikai/>です。



市議会議場にて開催された市内の中学生による「北九州ドリームサミット2010」(平成22年8月22日)

平成21年度各会計決算を認定!!

9月定例会が9月1日から9月30日までの30日間の会期で開かれました。
市長から48件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を原案のとおり決定しました。
また、議員から提出された議案は16件で、うち10件を可決しました。

主な内容	1～3面	本会議での質疑・質問と答弁
	4面	決算特別委員会(市長質疑)での質疑と答弁 可決した意見書・決議、請願・陳情の審議結果 常任委員会の主な活動状況など

本会議での質疑・質問と答弁

本会議での質疑・質問と答弁は、要約したものを掲載しています。
詳細は、11月下旬以降、各市立図書館において会議録でご覧いただけます。
また、市議会のホームページの会議録検索システムでも12月中旬ごろから閲覧できます。

本会議では、各会派から次の22人の議員が質疑・質問を行いました。(発言順。掲載記事の順番とは関係ありません。)

- 木下 幸子(公明党)
- 世良 俊明(ハートフル北九州)
- 中村 義雄(自民市民クラブ)
- 石田 康高(日本共産党)
- 井上 真吾(日本共産党)
- 福島 司(ハートフル北九州)
- 西田 一(自由民主党)
- 八記 博春(日本共産党)
- 吉河 節郎(公明党)
- 奥村 祥子(自民市民クラブ)
- 村上 幸一(自由民主党)
- 成重 正文(公明党)
- 山本 浩二(ハートフル北九州)
- 宮崎 吉輝(市民の声)
- 波田 千賀子(日本共産党)
- 日野 雄二(自民市民クラブ)
- 柳井 誠(日本共産党)
- 桂 茂実(公明党)
- 浜口 恒博(ハートフル北九州)
- 鷹木 研一郎(自由民主党)
- 河田 圭一郎(ハートフル北九州)

平成21年度 一般会計決算における 経営改善について

議員 平成21年度一般会計決算における経営改善の評価と今後の取り組みについて尋ねる。

市長 本市では、多額の収支不足を抱え、このまま何もしなければ財源調整用基金が底を突き財政破たん状態になりかねない状況にあつたため、平成20年12月に「北九州市経営プラン」を策定し、収支改善策に取り組んでいる。

平成21年度はこの初年度であったが、使用料等の確保、特別会計剰余金の活用、事務事業見直しなど、さまざまな経営改善に取り組み、目標とした102億円の改善を達成した。この経営改善の取り組みは、使途が制限されない一般財源ベースでの改善が大事だと考えており、すべて一般財源ベースで効果上がるものを計上している。

平成22年度も事務事業見直し、職員数削減などを掲げ、107億円を目標として経営改善に努めており、今後も持続可能で安定した財政の確立に道筋をつけるべく、全力で取り組みたい。

皿倉山観光のケーブル 事業について

議員 皿倉山でケーブル事業を行うう帆柱ケーブル株式会社は平成21年度に赤字となり、厳しい経営が続いている。同社決算を踏まえた今後の事業運営について尋ねる。

市長 ケーブルカーは、皿倉山頂への唯一の公共交通機関であり、皿倉地区の観光振興のための重要なアクセスと位置付けている。
市は、スロープカーの整備や山頂展望台のリニューアルなどの集客対策により帆柱ケーブル株式会社の経営改善に取り組んできたが、昨年度は、新型インフルエンザや天候不順の影響などで大幅な収入減となった。
こうした状況が続けば会社経営に支障を来すこととなるため、事業を今後も継続できるよう、会社組織の見直しも抜本的な改善策について、現在同社と具体的な協議を行っている。さらに、庁内関係局によるワーキング会議を設置して、皿倉山の魅力アップによるさまざまな集客対策の検討を開始した。今後、皿倉山の総合的な集客対策に取り組むとともに、年内には改善策を取りまとめ、できることから速やかに取り組んでいきたい。



帆柱ケーブルカー